

白ふくろう舎のワークショップ

仮面を作りましょう II



春です。再び仮面を作りましょう



パブではたびたび、こんにちは。イラストレーターの白ふくろう舎です。ちょっとレトロでキラキラした女の子やお姫様のイラストを描いています。女性誌やwebを中心に仕事をしていますが、活動[10周年を記念して個展](#)をしたり、最近ではワークショップなどのイベントも少しずつ手がけるようになりました。

さて、そんなイベントのひとつに、昨年秋に開催した「仮面を作りましょう」というワークショップがあります。個展用にと準備した仮面作りが思いのほか楽しく、「これを皆でやったら楽しいんじゃないかな？」と思ったのがきっかけ。いつもお世話になっている西荻窪「ニヒル牛2」さんに相談し、初めてのワークショップ開催となりました。（そのレポートは[こちらの電子書籍](#)でごらんいただけます。）

さて、初めてのワークショップは優秀な参加者に助けられ、大変好評のうちに終了しました。作品が素晴らしかったため、レポートも評判がよく、「是非第二回を」とのご要望もあり、すっかりその気になった私。それならと、春にお誘いいただいた「ギャラリー・ルデコ企画展『春まつり』」で、アンコール開催しようと考えました。

しかし開催予定日の前日。3月11日の震災が起き、ワークショップは延期。その後もなかなかこういったイベントを開催する気持ちにも、状況にもなれずにいました。が、「こんなときだからこそ、自分の周りの人たちにだけでも、美しいものや楽しいことに触れてほっとしたりワクワクしてほしい」という思いもあり、5月になってあらためてワークショップを開催することにいたしました。

3月にご予約いただいていた方がほとんどまた参加してくださることになったので、思い切って開催日を2日に延長。おかげさまで人数も集まったので、参宮橋の「Atelierいづみきよか」さんで2回目の仮面作りをすることになったのです。

Atelierいづみきよかさんのこと



レポートの前に、今回素敵な会場を提供して下さった参宮橋の「Atelierいづみきよか」さんのことを少し。

こちらは、昭和30～40年代に編み物デザイナーとして活躍し、東洋手芸協会元会長を務めた、泉清香氏の編み物教室として使われていた部屋なのです。

手芸やニット、編み物の本、当時のファッション洋書などの膨大な資料を公開してお好きな方に見て頂き、また夥しい数の毛糸類の売上げを少しでもご親族に還元できればと、期間限定で公開されている図書館スタイルのアトリエ。

こちらの管理をまかされた青山さん（彼女は昨年私の個展で、イラストをバッグに仕立ててくださったクリエイターさんです）にお声がけ頂き、拝見にあがったところ、この空間がすっかり気に入ってしまい、ワークショップをしたいとお願いしたらご快諾下さったのです。

仮面のゴージャス、ヨーロッパ的なイメージとは異なるこの場所を、参加の皆様は気に入ってくださるでしょうか？準備しながら、ちょっとドキドキです。

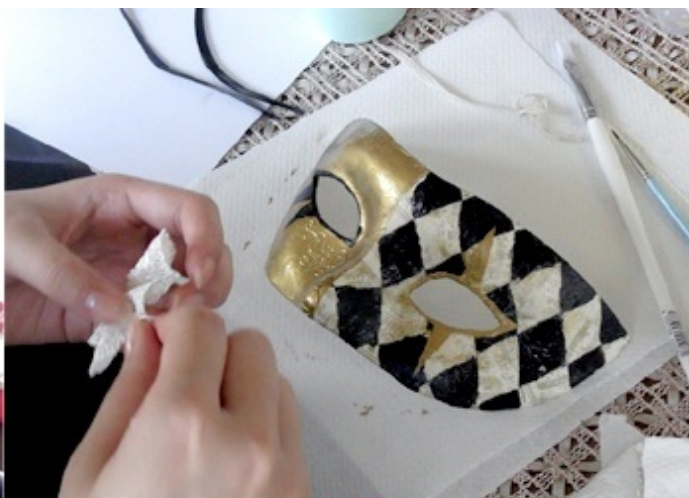


さて、いよいよ1日目、お迎えしたお客様。

少しばかり不安だった、アトリエへの反応も大変良く（雑誌の山を「お宝」と呼んでくださった方も！）、まずは一安心です。まずは軽く自己紹介していただき、早速仮面づくりを開始。

このワークショップは、仮面のベースに、こちらで用意したイラストのプリントやペーパーナプキンを特殊なグルーで貼り付けたり、絵の具で色をつけ、さらにリボンやレース、スパンコール、羽根や造花、アクセサリパーツなどご用意したなかから好きなものを好きなだけ飾っていただくという、かなり自由度の高いもの。

講師といいながら私のやることは、「これを留めたいけれどどの接着剤がいいか」なんて質問に答えたり、急いで乾かしたいときにドライヤーをあてたりなんてことくらいで、あとはひたすら「わあすごいすごい」と喜んで見守るだけなので、いささか申し訳ないではありますが。今回も、最初こそ迷っていらしたものの、作業をはじめると皆様すっかり手もとに集中です。なんだか蒸し暑い日だったので、薔薇の緑茶を飲みながらの作業。なんだか気持ちいいような、適度な緊張感のある空気が流れます。



「仮面作り」といういささかマニアックな内容がそうさせるのでしょうか、今回のお客様も皆、カンの良い方ばかりで、はじめにざっと手順をお伝えすると、あとは特に問題もなくそれぞれのやりかたで製作にはいっていかれます。

はじめからイメージがかたまっている人もあれば、作りながらだんだんふくらましていく人もあり…。皆さんそれぞれ真剣に、でも楽しそうに作業をすすめているのを眺めていただけるこの幸せ。

ぼけっとしていたら「パーツをとめるペンチみたいなものありませんか？」

しまった、前回の教訓から、今度は用意しようと思ってまたしても忘れちゃったのです！前のようにまさかお客様が持っているはずもなく・・・と思ったら、「わたし、持ってますよ」とまた奇跡のようなひとこえが。

毎度毎度、本当に皆さんになんとか格好をつけてもらって申し訳ない限りです。

今回時間はたっぷりつつたつもりですが、一度はじめるとあっという間、「そろそろお茶にしましょう」と声をかけると、皆さん最後のスパートに突入です。ドキドキの仕上がりは、お茶の時間のあとで！

好きなものをどうぞ



ちなみに、今回用意した材料はこんな感じ。他にもアクセサリパーツや貼り付け用ストーン、さらには羽根などもあります。

不思議なもので、ひとつの飾りに人気が集まるということは意外にないし、同じ素材を用意しても仕上がりの印象は各自で全く違うものになるのです。一体どんな作品ができたのでしょうか。ね、気になりませんか？

わくわくお茶タイム



というわけで、完成品お披露目の前に、お茶タイムです。

アトリエの青山さんも一緒に、しばし歓談を。一緒に作業をしている間に皆さんすっかり打ち解けて、いろいろなお話に花が咲きます。アトリエのこと、お互いの仕事や趣味のこと...新しい人とつながるときって、なんだかちょっとワクワクしますね。もしかするとまたここから、新しい何か生まれるかもしれないなあ、そんなことも思いつつ。



お茶受けのお菓子は、いつもお世話になっている流離のお菓子屋さんこと [Patisserie Chimmie](#) さんの、特製リンツァートルテ。

国産のベリーをたっぷりつけたジャムと、スパイスのきいたサククリ香ばしい生地が2層になった、ウィーンの伝統的なお菓子です。本来はジャムの上に格子模様の生地をのせるデザインですが、仮面のワークショップらしくクマや鳥の型で抜いた生地をのせて、かわいらしく仕上げてくださいました。

生地もジャムもしっかりした味があり、意外とたべごたえがあります。おかげさまで、お客様の評判も上々です。

ちなみに...忘れてしまった3月のワークショップ用には、オレンジとチョコレートの、はちみつたっぷりの薔薇型マドレーヌを焼いていただいていたのですよ。これも是非おだしたかったなあ、残念！

さて、お茶とお菓子を頂いたあとは、お待ちかねのお披露目タイムです！
力作の数々、是非ご覧ください。

ハラダリヤコさんの仮面



繊細で、ちょっと懐かしい雰囲気のある素敵なイラストを描かれる [ハラダリヤコ](#)さんの仮面。はじめからかなり明確なイメージがあったようで、迷いなく手際よく製作を進められていました。いかにもベネチアを思わせるクラシカルな雰囲気。写真だとディテールがとんでしまうのですが、五線譜をモチーフにしたペーパーナプキンの風合いがアンティークの仮面のような表情を与えて、紙とは思えない質感です。金と黒との対比もバランスよく美しく、仮面のお手本のような、このまま売り物になりそうな雰囲気！



ハラダリヤコさん、この日はちょうど個展を開催中とのことで、製作後急いで会場に向かわれました。彼女のどこかノスタルジックで、少女の毒も秘めた繊細で美しいイラスト、是非前ページのリンクからごらんになってみてくださいね。



大学で染色やテキスタイルを学んでいる[マナミさん](#)の作品。白を貴重としたふわりとした女性らしい雰囲気仮面ですが、細かなドットやレース模様など、これも質感が素晴らしく、手に取ると写真で見る以上に凝った作りなのがわかります。アクセントのブルーも効いて、エレガントな中にもさわやかな印象に仕上がりました。花嫁さんに就けていただきたいような仮面です。

マナミさんの仮面（2）



仮面をつけてパチリ。スラっとしたマナミさん、モデルを務めることもあるそうで、自然な笑顔が素敵。こうやってつけると、ぶらさがりでつけたアクセサリパーツもきいています。着ている服にもお似合い！



女装のライター、[ヨネザワエリカ](#)さんの仮面。マカロンみたいな色の造花をたっぷり飾って、どうやらこれが一番乙女な作品になりそう・・・と思いながらみていたら、メタルのパーツがくっついて、どこかロックなテイストのアントワネットみたいな仮面ができあがりました！レースやラメもふんだんにつかい、華やかでデコラティブながら、あくまで上品にまとまっているところにセンスの良さが光ります。つけたときに右と左で全く印象が変わるのも魅力的で、そんなところにも作者の個性がでているかもしれません。



パチリと一枚撮られてひとこと、「重いです」とエリカさん。
それだけにインパクトは十分で、ひときわ目をひくデザイン。この仮面、どこかのイベント用に作られたそうで、イベントでの反応がどんなだったのかも是非うかがいたいところです。私だったらどこで手に入れたのか、絶対たずねてしまいそうです！

小川更紗さんの仮面



声優活動をはじめられた[小川更紗](#)さんの仮面。シルバーとホワイトをベースに、シンプルな仕上げになるかと思いきや、最後の最後につけられた長〜いリボンの絶妙なバランスが皆の賞賛の的となりました。額部分の羽根とあいまって、無国籍な、不思議な印象の作品に。淡い色が主体のため、写真で魅力がうまくお伝えできないのが実に残念です。

小川更紗さんの仮面 (2)



白い服と重なってしまっているので見えにくいですが、腰のあたりまで流れるリボンをお分かりいただけますか？

お申し込みいただいたときには、一人参加なことや（実際は皆さんほとんどお一人の初参加なのですが）絵心がないことを心配していらっしゃいましたが、最後にはご自分でもこれだけのものを仕上げられるとは思わなかった、とおっしゃっていたのが印象深く、また嬉しいことでした。



お互いの仮面をかぶりっこしたり、写真をとったり、昔のファッション雑誌をみたり、と盛り上がってしまい、気がつけば予定時間をだいぶ過ぎてしまいました。あわただしくお帰り頂くことになってしまいましたが、おかげ様で1日目は大成功、そして今回も予想をはるかに上回る美しく創造的な仮面をみることができて、本当に幸せでした。

それはもう、片づけをしながら、アトリエの青山さんと興奮して喜びを語り合うほどに。

「でもこんなすごいものを1日目から作っちゃって、明日の人たちはプレッシャーかしら。あまり写真を見せないほうがいいかしら？」そんなことまで心配になってきましたが、さて明日はどんな作品ができあがるのでしょうか。

2日目のお客様



2日目はあいにくの雨模様・・・でしたが、皆様元気にお集まりいただきました。この日は延期になってしまった3月のワークショップに予約を申し込んでくださったかたの参加が多く、パーツを持ち込み頂いたり、気合も十分。

一体どんな仮面を作ってくださいるのでしょうか？

そして今日も、皆さん初対面とは思えないなごやかで打ち解けた雰囲気の中、ワークショップははじまりました。

とはいえ「昨日あれだけのものを見ちゃったものなあ」と、勝手に心のハードルをあげすぎないように、なんて失礼なことを考えていた私。そんな思いが、あとで軽く打ち砕かれることも知らずにおりました。



この日はすでにいろいろな仮面の資料などを集めてきたり、事前のイメージが固まっている方も多かったように思いますが、実際に作りはじめるとまた新しい方向がみえてきたりするので、製作過程をみるのはとてもエキサイティングです。

「あ、こうなったんだ...！」

という驚きは、外から見ている人だけでなく本人にもあるんじゃないかと思うのです。

「仕事と関係なく、誰が評価するわけでもないものを作るって楽しいなあ」

そんな声があったのも面白かったです。正解がないものをのびのび作る機会というのは、大人になると思ったより減ってしまうのかもしれないなあ、と。

お茶タイム



そろそろお茶ですよ～、という声に「ラストスパート！」と熱がはいるのも昨日と同じ。今日もおいしいリンツァートルテをいただきながら、またあれこれと話に花が咲きます。ワークショップの対象が対象だけに、趣味が似ている人も多いのかもしれませんが。

さて、今日もまた予想以上の作品のオンパレード、是非ご覧ください。



実は以前、私の個展の仮面作りを手伝ってくださったことがある[フジエダ](#)さんの素敵な仮面。そのときは時間もなく、私の展示ということで彼女の個性がここまで発揮されることはなかったのだなあと、今回の出来をみて思いました。ホワイトトゴールドのバランスもよく、作業に迷いもあまりなかったように感じます。

絵の具の金の上にゴールドラメを重ねたり、同系色も違う質感を加えることで、より仕上がりに深みが加わるのがよくわかります。それにしても白い仮面の撮影は難しい！



つけてみてパチリ。あれっ、と思った方もいらっしゃるかと思いますが、最後につけた細いシルバーのチェーンがたたりとさがって、リズム感みたいなものがでています。実際は鳴らないのですが、シャンシャンと鈴の音がきこえてきそうな、これをつけてダンスしたら楽しそうな仮面！



ネット上ではかれこれ10年近いお付き合いのある[スーさん](#)の仮面。

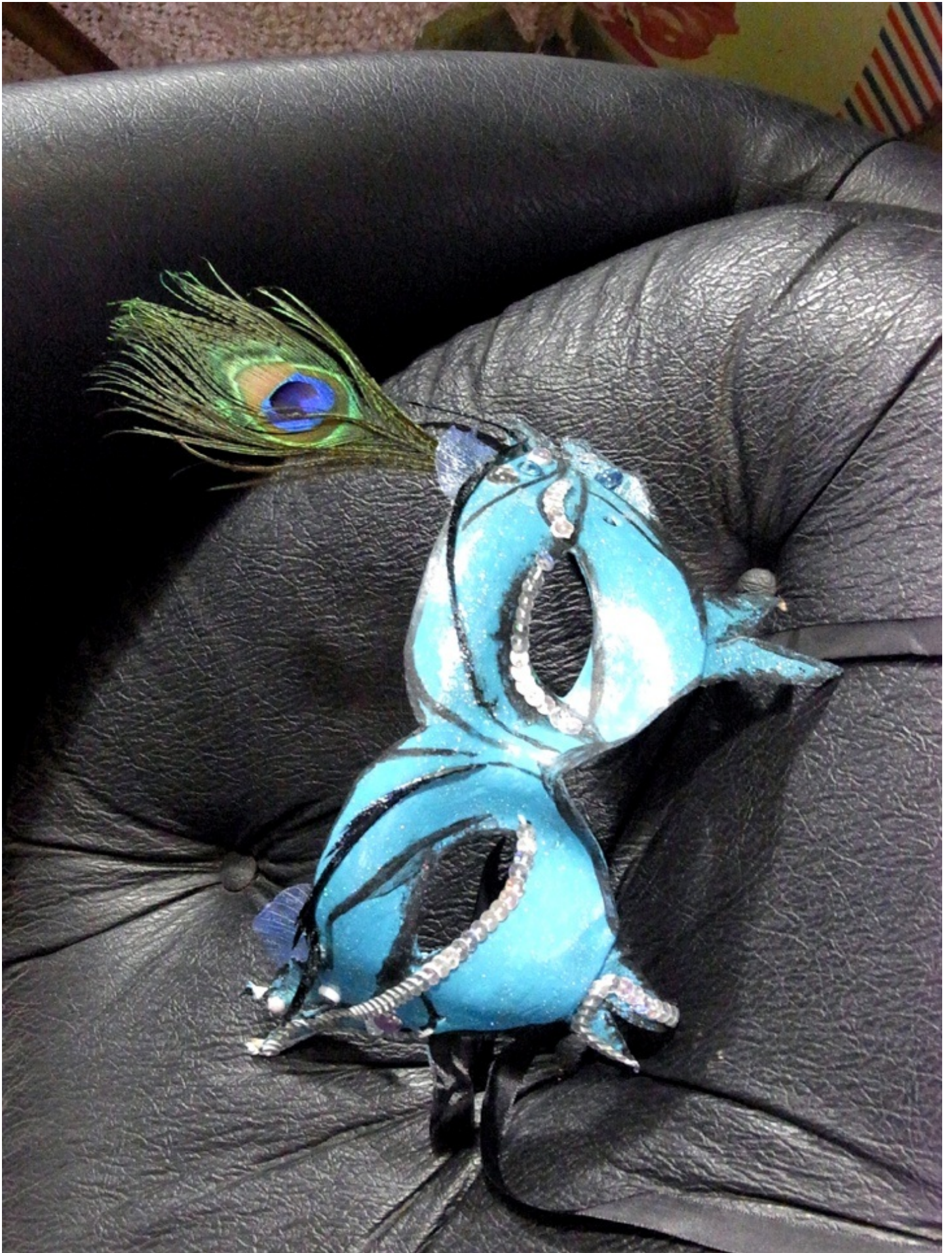
ゲームのグラフィッカーというお仕事からもあり、彼女のイラストは普段モニタごしに見ることばかりなので、目の前で実際に絵の具をつかっている姿が新鮮でした。面白いのは、どんな素材でも仕上がりはとて彼女らしいというものになること。何層にも重なった絵の具や紙、シールが、まるで陶器のようなテクスチャーを紙の仮面に与えています。シールの台紙部分のかたちを利用したり、仮面のワクからはみ出すデコレーションはつけなかったり、自分でいろいろな「しぼり」を無意識につくってチャレンジしているのが面白かったです。センスと技術でこれだけ作れるんだとみせつけられるような力作です。

スーさんの仮面 (2)



意識しているのかなのか、皆さん自分の服と仮面が非常にマッチしているのも面白いところ。

スーさんは翌週、会社に仮面を持っていったそうで、女性に大好評だった模様です。是非男性社員にもみてもらって、ご意見をうかがいたいところです。意外と好きな人も多いような気がするんですけどね。



フードコーディネーターの[りんひろこ](#)さんの仮面。

「ロミオの仮面をつくりたいんです」と、某舞台ポスターの画像をiPhoneで見ながらの作業でした。今回一番、元の仮面の形を変える必要があった彼女、カットしたり外側の羽の部分表現したりと土台作りからのチャレンジでしたが、ちゃんと工夫して蝶々っぽい形に仕上げ、着色も間に合った、その集中力にも驚きです。ブルーの色は、アクリルの上から同じ色のラメマニキュアを全体にコートしているので、キラキラとして深みのある仮面になりました。お手本をみながらの製作でしたが、ちゃんと最後には本人のアレンジで、彼女ならではの作品になっているのも素晴らしい。

りんさんの仮面(2)



「今度はジュリエットの仮面もつくりたくなっちゃった」という彼女、是非そちらもつくって仮面舞踏会とか、ポスター撮りまでやって頂きたいです。黒いリボンもあいまって、ちょっとエキゾチックで、いかにも特別な雰囲気のある仮面になりました。そうそう、最後の黒いラインを描く手早さと思い切りのよさは特筆ものでしたが、「クッキーにアイシングするのと同じです！」とのこと。普段の鍛錬がどこで役に立つかわかりません。

黒鳥さんの仮面



自作のイラストやパーツ持参で参加くださった[黒鳥さん](#)の、闇の宝石みたいな仮面。「魔界っぽい感じ」に、と作っていらっしゃいましたが、おどろおどろしさよりは美しさが際立つ、魔界でも上級な感じ（って何でしょうね）の仕上がり。持ち込みパーツとこちらで準備した素材もしっかりきまっています。もともとイラストのほかにもお人形のメイクや衣装も手がけるだけあって、細かい作業はお手の物。作りこまれた細部も見事です。これは是非、黒いドレスかなにかにあわせてどこかでお披露目していただきたいなあと思うのです。

黒鳥さんの仮面 (2)



このままショーにでてもいいんじゃない？という写真になりました。[当日の様子](#)をご本人もブログにアップしてくださっています。それにしてもイラストと本人は雰囲気などが似る、といいますが本当だなあとしみじみ。

またまた写真ではすべてとんでしまいましたが、白い部分のモチーフレースも繊細で重厚で素敵なんですよ。本当にどれも手にとって実物をみていただきたいものです！

2日目の終わりに



こうして並べると、同じ素材や条件でつくったことが信じられないようなバリエーションです。面白いのは、お互いの出来におどろき、褒め称えあいながらも、どなたも皆一番自分の作品に満足しているのが感じられること。

作品づくりには、普段はなかなか難しい、「みんな違ってみんないい」という状態がいとも簡単に実現するという面白さがあります。そこがまたいいなあと思うのです。ちなみに、1日目、2日目の仮面ともに「売ってください」といいたくなる魅力に満ちていますが、どうやら誰も譲ってくださる気はなさそうでした・・・非常に残念です。

それにしても、3時間弱集中すれば、まっしろな仮面がこうなるなんて、やってみないとなかなか信じられないように思うのですがいかがでしょう？

ワークショップの終わりに



いかがでしたか、「仮面を作りましょう」ワークショップ。第一回につづいて、またまた驚きの作品をたくさん見ることができ、何より創造の楽しさにあふれた時間、空間を共有できたことが嬉しく、開催できて本当によかったなあと思います。

大変なこと、心配なこと少なからずある昨今ですが、たまには心も身体も開放して、ただ美しいもの、楽しいことをみつめる時間をもって、休息できたら...せめてこのレポートが、ひといきつくきっかけにでもなればいいなと願いつつ。

そうそう、「休む」ことは、必ずしも自然に触れたり、カジュアルやナチュラルな方向に身を置くことにかぎらず、自分が好きな世界なら過剰なほどにゴージャスでも、必要以上にこだわりの強い世界でもいいのだなあと感じたのも、私にとっては収穫でした。自分が楽に呼吸できる場所をとっておくことは大事かもしれません。

ここを自分の場所だと感じてくださる、まだ見ぬ皆様とも、いつかどこかでお会いできたら幸せです。

参加者の皆様、最後まで読んでくださった皆様、本当にありがとうございました。

イラストレーター「白ふくろう舎」情報（2011. 6）

2011年6月28日～7月3日

ギャラリー・ルデコの企画展 [「夏まつり」に参加](#)します。

[白ふくろう舎ホームページ](#)

[白ふくろう舎ブログ](#)

[フェイスブックファンページ](#)

[twitter](#)

[しろぐるめ（料理ブログ）](#)

[パブ：白ふくろう舎](#)

「仮面を作りましたⅡ」白ふくろう舎ワークショップの記録、再び。

<http://p.booklog.jp/book/27327>

著者 : 46296

著者プロフィール : <http://p.booklog.jp/users/46296/profile>

発行所 : ブクログのパブー (<http://p.booklog.jp/>)

運営会社 : 株式会社paperboy&co.

感想はこちらのコメントへ

<http://p.booklog.jp/book/27327>

ブクログのパブー本棚へ入れる

<http://booklog.jp/puboo/book/27327>